

いつかぼくもお父さんのように

蛭田 陽光

ぼくのお父さんは、はででかっこいいお父さんです。お父さんのかみの毛は、だれもがふり返るほど、いつもカラフルです。どれくらいカラフルかと言うと、黄色、青、水色、むらさき、ピンクのかみ色です。ぼくも、大きくなったら、「むらさき色と、水色にしてみたいな。」と思っています。

東日本大しんさいの、八か月前にお母さんと二人で、びよろ室をはじめました。

今年でお店をはじめて、八年目になります。しんさいの時、ぼくは一さい六か月でした。あの地しんのさいがいの時ぼくは、お父さんとお母さんのお店にいたそうです。

お店とはべつな場所にある、ぼくの家の方は、つなみが来たらしく家族全いでいっしょにびよろ室にいられて、よかつたとお父さんとお母さんが言っていました。

地しんの後は、お父さんのお店の方もお水が出なく、シャンブーができないけどお父さんは、かみの毛を切るだけしかできないけど仕事をがんばっていたそうです。

ぼくは、まだとても小さくて、その時の事はおぼえてないけど、お父さんとお母さんとずっといっしょにいたから毎日わらっていたそうです。

みんながえ顔でいられたらいいなと思ったお父さんのお店では、びよろ気などでかみの毛がぬけてしまった子どもたちにも、かみの毛をきかして、いりよう用ウィッグをおくるとい

事をはじめました。まだ知らない人も多いヘアドネーションです。ぼくの妹も、さいきんヘアドネーションをしました。妹の友だちも、ぼくの友だちも、おきやくさんもしています。これからヘアドネーションを多くの人に知ってもらい、やる人がふえて、

「そのわが世界中に広がっていくといいな。」
とぼくは、強く思います。

お父さんは、中学一年生の時にびよろしになりたいたいと思

びよろしになって十八年になりました。「お父さんは、手先がき用な方ではないから、人の三ばいど力するんだ。」って話してくれました。それをきいた時ぼくの心にひびきました。ぼくは、お父さんのように人の三ばいど力してがんばっている事があるだろうかと考えてみました。今はまだそこまで力できていないと思いました。これから、多くの事をべん強していくぼくは、できない事もにがてな事も、お父さんのように人の三ばいど力していきます。ぼくには、その自しんががあります。それはいつもそばに力強く、大すきなお父さんがいてくれるからです。

おきやくさんみんなを、すてきにできる、まほうのような手を持つお父さん。その手でいつも仕事をがんばってくれてあげがとう。

いつかぼくも、お父さんのようにまほうのような手を持つびよろしになりたいです。